

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 73 号
R1. 7.19

夏の短歌表現大賞

金賞

青い空 広がる景色 澄んだ町
風が奏でる 風鈴の音

M・M

表現大賞

全員が取り組むテスト 真剣に
シャーペンの音 響く教室

I・T

何だろう 抑えきれない この気持ち
君に届け 愛のスマッシュ

N・I

【評】 からっと晴れた青空が広がり、色が碧く澄んだ町並み。爽やかな風が通り抜け、どこからか風鈴の音がチリリンと聞こえてくる。平和な時がゆっくりと流れていく鳥の風景を思い浮かべました。風が奏でる風鈴の町でも良い。

【評】 シャーペンのシャカシャカと書き込む音だけが教室に響くテスト風景が表出する。心地よい音を聞きながら、問題に向かう熱気が伝わってくるようだ。全員が真剣に向き合う教室。授業のようだ。

【評】 何だろう、この古典的で、こそばゆいフレーズは。「君に届け愛のスマッシュ」が耳にこびりついて離れない。素直で直撃な感情がアニメの1場面で見られるテニスの主人公のようでインパクトがある。

どーもー。ダレのオカゲで。令和の梅雨もやっと明けたと思ったら、もう夏休み。シャアアシャアと蝉の教室、ひんやりクーラーの教室を往來し、2年生が創ったという短歌を鑑賞し、描かれている情景を思い浮かべながら、作者の気持ちにより添いながら独断と偏見と妄想力で夏の短歌表現大賞を選んでみました。いかがでしょうか。

銀賞

ひとふさが 消えゆく雫 見るたびに
溢れ出すのは みかん愛

O・M

大会の後に みんなで夏まつり
勝利の花火 上がるよいな

H・A

沢山の仲間が居るから 頑張れる
目指していこう テッペン？に

F・M

【評】 ◎きつい大会が終わり、みんなが夏祭りに出かけてワイワイとストラス発散する女子会。恋の話も良いけれど、次の大会での勝利を打ち上げ花火に誓い合うチームも良い。告白の花火で勝利じゃないよね？

【評】 ◎こちらも部活動が主題である。チームが一つの目標に向かって練習や大会を頑張る気迫がこみ上げてくる。そういうえば、バレー部は朝のあいさつ運動を一時期展開していたが、二学期から復活するのかな？。テッペン狙うなら、声に出すことだ。



【評】 ◎よほどミカンが好きなのでしよう。食すほどに、体に染み渡るミカンの味とビタミンCは、明日へのエネルギー源だ。たっぷり食べんしゃい。そして、みかん愛を出しんしゃい。